

第 46 回全国左官技能競技大会（九州ブロック会福岡）

（課題施工説明書）

① 作業時間は 18 時間 30 分とする。

作業は 5 工程とし指定作業を制限時間内に優先するものとする。

第一工程	4 時間 50 分
第二工程	3 時間
第三工程	4 時間 10 分
第四工程	3 時間 10 分
第五工程	3 時間 20 分

② 課題の趣旨

自然素材、伝統工法、現代工法を通して社会に塗り壁の良さを伝えたい。

また、今回アジアの玄関口と言われている福岡開催であるという事もあり、アジアを始め世界にも日本の技能・技術の素晴らしさを発信して行けたらと、今までに無いモダンで見学者をも魅了する課題となっている。

③ 課題の内容

1、	天井見付	=石膏置引き
2、	天井	=砂壁仕上げ
3、	左柱 A	=黄搔き落し
3.	左柱 B	=白搔き落し
4、	左柱 目地	=黒砂壁仕上げラオ面引き
5、	壁	=砂壁仕上げ
6、	壁	=漆喰仕上げ
7、	置引き	=置引き切断後貼付け仕上げ
8、	壁、天井切付	=技能検定用仕上げ材蛇腹引き
9、	ライン	=黒砂壁仕上げ
10、	巾木	=寒水石ミュールコート仕上げ
11、	床	=青海石（3分）敷き込み

作業仕様

下地構成、枠組み、12 mm合板下張り後、12.5 mm P B 重ね張り、
フィラエース下塗り

- | | |
|------------|---|
| (1) 天井見付 | 焼石膏置引きボンドつけ、ビス止めとし、止め補修とする。ライン部分は黒砂壁仕上げ |
| (2) 天井 | 砂壁材を塗り罨押えとする。 |
| (3) 左柱 A | 4 分目地入れ後、掻き落とし材（黄）塗り付け
水引後掻き落とし仕上げ |
| (3) 左柱 B | 4 分目地入れ後、掻き落とし材（白）塗り付け
水引後掻き落とし仕上げ |
| (4) 左柱目地 | 黒砂壁材塗りラオ面引き仕上げ |
| (5) 壁 | B ドライ中塗り後、砂壁仕上げ |
| (6) 壁 | B ドライ中塗り後、漆喰仕上げ |
| (7) 置引き | 焼石膏置引き切断加工後、割り付けボンド張り |
| (8) 壁、天井切付 | B ドライ中塗り後、技能検定用仕上げ材で蛇腹引き仕上げ |
| (9) ライン | 漆喰仕上げ後、定規又は目地棒で墨出し
定規、目地棒を当て黒砂壁仕上げ |
| (10) 巾木 | ミュールコートペースト下塗り後、
寒水石ミュールコート上塗り仕上げ |
| (11) 床 | 青海石 3 分敷き込み |

課題施工要領書 1

- (1) 課題点検 事前に審査委員の指示により課題の点検を行い、寸法の修正や捻れがある場合は申し出て、確認のサインをもらう事。
- (2) 置引き 材料の無駄を無くし、角の欠けや型傷の無いように仕上げること。
- (3) 墨出し 墨出しは図面に従い基準墨より測り出し、各芯墨及び逃げ墨を7本以上出すこと（レーザー使用可）
仕上げ墨はレーザーを使用しない事。
- 糸張り 陸墨及び仕上げ墨は床パネルから測り出す。
角の糸張りは仕上げの基準となるので念入りに見ること。
下端定規はG Lボンドで貼り付け、下にボンドがはみ出ないようにする。
- (4) 置引取付け 貼り付け材はG Lボンドとし架台側に定規打ちし貼り付け後ビス留とする。留め部（ビス穴）は丁寧に補修する。
- (5) 天井 見付置引きと課題の隙間をG Lボンドで詰めた後、砂壁材で均一に塗り付け鏝むらをよく取り仕上げる
- (6) 左柱 A,B 目地入れ後、掻き落とし材を均一に塗り付ける。
水引を見て、掻き落とし器、ノコの刃、くし等で掻き落して表面を刷毛で掃き仕上げる。
角面は定規を当て欠けないよう注意する。
- (7) 左柱目地 黒砂壁材塗り付け後、ラオ面引き鏝で仕上げる。
- (8) 壁 Bドライで中塗り、2回塗とし鏝ムラを取っておく
砂壁材を塗り、鏝ムラをよく取って仕上げる
ライン部分の留は目地棒を使用し石膏が丁度入るようにする。
(幅が広すぎず、狭くならないよう注意する)

課題施工要領書 2

- (9) 壁 Bドライで中塗り、2回塗りとし鏝ムラを取っておく
漆喰を2回塗り、鏝ムラをよく取って仕上げる
ライン部分の留は目地棒を使用し石膏が丁度入るようにする。
(幅が広すぎず、狭くならないよう注意する)
- (10) 壁 漆喰仕上げの上に定規又は目地棒でライン部の墨出しをする
(墨出しは鉛筆か鏝の先でするとよい)
墨に沿って定規、目地棒当てがい黒砂壁材で漆喰面を汚さない様に塗り付け鏝ムラを取り仕上げる。
下の漆喰地が透けないように注意する。
- (10) 正面壁 置引き加工後、割り付けをし、配合剤で貼り付けつける。
ライン部分 (貼初めは巾木天端から、右袖壁から行う)
砂壁、漆喰壁、黒砂壁の角を傷つけ無いよう注意する。
石膏が壁仕上げより 1~2mm 程度出るようにする。
※ライン部分の置引き加工時のみ卓上丸鋸の使用を認めるが
切断時は十分注意する事。
- (11) 壁天井切付 引き型から墨出し、走り定規をビス留めし Bドライで中塗り後
技能検定用仕上げ材で上塗りする。蛇腹の引きムラの無い様に
仕上げる。
- (12) 巾木 塩ビ下端定規貼り付け後、ミュールコートペーストを塗り
追っかけで寒水石ミュールコートを手が均等にそろるように塗
つける。
- (13) 床 課題床側面に釘かビスで定規止めし
青海石 3分敷き込み 底が見えないように均等に敷き込む。
- (14) 清掃 課題内の清掃は時間内に済ませ、課題外の掃除と道具片付けは
時間外にして良いが、課題内には入らない事。